



氷川神社参道でカレー作りと飯盒でご飯を炊く

青少年育成部会 部会長 宮田 雅  
2年目のキャンプ、去年の手探り状態から比べると、準備、段取りに関しては随分と楽でした。

しかし、気を抜くと重大な事故につながるのではと夏まつり後は集中して準備しました。

普段通う学校でのキャンプですが、自然の影響を実感するものでした。開催を危ぶむ程の前日まで低温状態、当日は昼から夏の日差しが回復しましたが、雲の動きが不安定でした。遠雷を聞きながら氷川神社境内でカレーを食べ、小雨の学校探検、就寝後の豪雨、といろいろ体験させてもらいました。

今回、中一の生徒が、ボランティアとして終始手伝ってくれました。こんな形で世代が繋がっていくと嬉しいです。

そして、多くの方、団体にご協力頂き心から感謝します。



家庭科室でカレーの下ごしらえ



少し寒いけど、たのしい～！



翌朝 全員で記念撮影



今夜泊まる TENT を準備



生活環境部会 馬渡 令子

生活環境部会の夏休み恒例行事、自転車点検が7月24日(日)10時から、地元の自転車屋さん、碑文谷警察署、区役所などの皆さまのご協力のもと、今年も氷川神社の参道で行われました。

今日も暑くなるぞと思わせる朝でしたが、神社の木立が日陰を作り、涼しい風が通る心地良い環境の中で、ブレーキ調整、タイヤの空気圧、ネジの締め直し、注油などの点検後、警察の方から自転車走行の諸注意を受け、簡単な試走も行いました。

副校長先生も愛車で参加され、部員達の熱心な勧誘に急遽点検を受けた方も多く、参加人数は大人50名、子供7名、合計57名で、例年より多くの人が訪れましたが、子供たちの参加が少なかったのが残念でした。



八雲の夏まつり実行委員会 委員長 杉浦 幸雄

「第16回八雲の夏まつり」は地域の商店会の協賛や町会・学校など多くの団体・方々の協力を得て、平成23年7月16日(土)と17日(日)、八雲小学校の校庭で開催されました。

天候にも恵まれて子供から高齢者まで 大勢の方に参加していただきオープニングイベントや模擬店、盆踊りなどを楽しみました。

特に今回は東日本大震災復興支援と節電に取組み、参加の皆様に協力いただいて多くの義援金も集まりました。

にぎやかにオープニングイベント



八雲小金管バンド



児童館の子供太鼓



サプライズイベントにマルモミ体操登場



今年の夏まつりは節電と 東日本大震災復興支援



茨城産野菜を販売



中学生もお手伝い



提灯は1/3ずつ交互に消灯



売り上げの10%を義援金に



模擬店ではLED電球使用



八雲小有志によるヨサコイソーラン2011